

被表彰者紹介

表彰を受けられた皆さんを紹介いたします(敬称略)。

◆千葉県保育士賞(知事表彰)



小川 篤子
(栢田)

栄保育園元主任保育士。昭和55年に採用されて以来、長年にわたり地域の実情に沿った育児環境の整備や一時保育の受け入れなどに取り組み、千葉県保育協議会海匝支会常任委員や全国保育協議会認定による保育活動専門員を務めるなど、良質な保育の提供に尽力されています。

◆千葉県統計協会会長表彰

林 節子(野手)

◆退任された民生委員・児童委員に対する表彰

▼厚生労働大臣感謝状

鈴木勇、石橋和雄、及川美佐子、鈴木孝宣、佐藤栄子、萩原謙一、小林正幸、楢山孝夫、高司金行、春林幸子、平山美佐子、秋山初男、熱田文彦、安藤弘一、石崎常雄、江波戸好文、加瀬貞明、神子美雄、越川理、富永ユキエ、宮内典子、山中政代
※千葉県知事感謝状、市長感謝状も受賞。

▼千葉県知事感謝状

椎名理三郎、宇野謙治、小川美智子、勝山慶一、小関和雄、越川邦男、高木静江、林恵子、渡辺上、渡邊芳枝
※市長感謝状も受賞。

▼市長感謝状

石橋春雄、平山正之、行木紀和

監査委員 小川議員 選任

議会の同意により、市議会議員の小川博之氏が、令和4年12月21日付けて監査委員に選任されました。



監査委員
小川 博之氏

関 監査委員事務局

☎73・0095

防災行政無線戸別受信機

無線放送は聞こえていますか

市では各世帯に対して戸別受信機を貸与しています。貸与を希望する人は総務課(市役所2階)で手続きしてください。貸与は1世帯(市の住民基本台帳に登録されている世帯)に1台です。ただし、2世帯で同一建物に居住する場合は、1台までです。

◆よく聞こえないときは
放送が時々途切れるなど、

2月～5月の放送担当紹介

中学生による児童の帰宅呼び掛け

市では、防災行政無線を通じて中学生の声による「子どもたちへの帰宅の呼び掛けと地域の皆さんへの見守りをお願いする放送」を行っています。2月～5月は、八日市場第二中学校2年・鶴之沢文音さん(=写真)が担当します。放送時間は、2月は16時、3月～5月は16時30分です。



関 総務課消防防災班 ☎73-0084

(1年以上経過したものは、早めに交換しましょう。また、乾電池の液漏れにも注意してください。

電池交換のサインが表れたら、一度電源を切り、新しい乾電池と交換し、電源を入れ直してください。

《電池交換のサイン》

●電源ランプが赤と緑の交互点滅している。

●放送終了後にアラーム音が出る。

関 総務課消防防災班

☎73・0084

熱田さんが一日税務署長に 模擬決裁や署長訓示などを体験

国税庁などが租税教育の一環として行う「税についての作文」で銚子税務署長賞を受賞した野栄中学校3年・熱田杏奈さんが12月22日、銚子税務署の一日税務署長を務めました。同署の廣瀬公一署長から委嘱状とたすきを手渡された後、署長席での模擬決裁や、税務署職員に向けた署長訓示（受賞作文の朗読）など、一日税務署長としての職務を果たしました。

訓示の中で熱田さんは、「税金は、私たちの暮らしを支える大きな柱となっていると実感しています」と話していました。



模擬決裁をする熱田一日税務署長



結果報告のため市役所を訪れた選手ら

「ALL匠」が全国3位に 中学生による軟式野球の全国大会

本市のスポーツ少年団であり、本市や近隣市町の中学生からなる軟式野球チーム「ALL匠」が「オールジャパンベースボール中等部2022全国大会」に出場し、見事3位に入賞しました。

同大会は、令和4年9月17日～19日および10月10日に埼玉県および静岡県で開催。全国から16チームが出場するなか、ALL匠は予選リーグで1位となり決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメント1回戦で0対2と惜しくも敗れ、3位となりました。

12月26日に市長表敬訪問が行われ、市内在住の選手などから宮内市長へ結果が報告されました。



▲ALL匠の活動はこちらから

「大切に使って」と手渡し ボーイスカウトが街頭募金活動

日本ボーイスカウト匠第1団のメンバーが12月26日に市役所を訪れ、「歳末たすけあい運動」で集めた募金を宮内市長に手渡しました。同団は同月25日に市内2カ所の商業施設で街頭募金活動を実施。集まった総額5万6885円は、高品瑠花さん、鶴野結也さん、佐藤龍牙さんの3人から「大切にしてください」と宮内市長に手渡されました。



左から佐藤さん、宮内市長、高品さん、鶴野さん

宝くじの助成金で神輿を修復 地域コミュニティの活性化に



宝くじの助成を受け、修復された神輿

中央地区の萬町区では、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターからの助成を受け、同区所有の神輿（平成4年造）の修復を行いました。破損により使用困難となっていた神輿の活用により、今後も地域コミュニティの存続と活性化が期待されます。